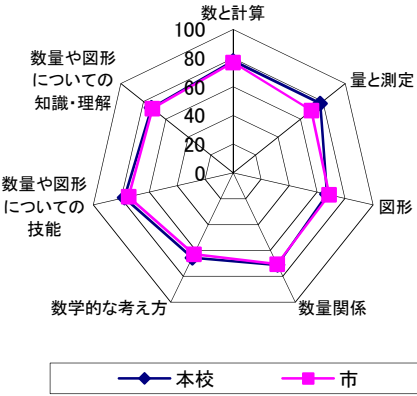


宇都宮市立陽南小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	78.1	77.0	70.4
	量と測定	77.7	69.8	68.5
	図形	67.0	68.6	72.4
	数量関係	71.3	70.6	60.4
観点別	数学的な考え方	65.6	63.0	54.8
	数量や図形についての技能	77.7	74.7	67.3
	数量や図形についての知識・理解	72.8	72.0	74.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
（算数では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。）



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	・ 正答率は78.1%で、宇都宮市の平均正答率より1.1ポイント上回っている。しかし、内容別に見ると、小数同士の除法や文章問題に合う式を選ぶ問題、式が表す意味を答える問題で市の正答率を下回っていた。	・ 計算ドリルに繰り返し取り組ませるとともに、個別指導を充実させ、さらに計算力を伸ばしていく。 ・ 文章題の意図を読み取り、簡単な図や数直線に表す練習に取り組んでいく。
量と測定	・ 正答率は77.7%で、宇都宮市の平均正答率を7.9ポイント上回っている。速さの問題では、90%以上の児童が時速の求め方を理解していた。しかし、分速を時速に直す問題では、市の正答率を上回ったものの、正答率は57%にとどまった。	・ 時速・分速・秒速の関係を、数直線等を利用しながら復習に取り組ませる。 ・ 実物の教材を用いて、横向きになっている立体の底面と高さの位置関係を、繰り返し指導する。
図形	・ 正答率は67%で、宇都宮市の平均正答率を1.6ポイント下回る結果となった。内容別に見ると、対称な図形や正多角形の問題では、市の正答率を上回っていたが、円の半径から円周を求める基礎的な問題では、市の正答率を大きく下回った。また、展開図を使った問題でも、約80%の正答率ではあったが、市の正答率を4%下回った。	・ 円の円周を求める公式、円の面積を求める公式を繰り返し確認する。 ・ 具体物を利用したり、操作活動を取り入れたりした授業を展開する。
数量関係	・ 正答率は71.3%で、宇都宮市の平均正答率を0.7ポイント上回った。内容別に見ると、割合や比例・反比例の問題では、市の正答率を上回ったが、文字の式の基礎的な問題や比の活用問題で市の正答率を下回った。	・ 文章を簡単な図や数直線で表す練習に取り組んでいく。 ・ 文章問題では、問われていることと違うことを答えてしまうことがある。何を求める問題かが分かるよう、問題文に線を引かせ、誤答しないよう指導していく。